

# 令和5年度 学校経営方針

みなかみ町立みなかみ中学校長  
阿部 忠博

## 令和5年度 みなかみ町教育行政方針 学校教育の基本方針

「郷土みなかみを愛し、思いやりを持って、たくましく生きる児童・生徒の育成」を目指し教育水準の向上に努める。  
「絶えず考える」を生活の指針とする。

### 1 学校の教育目標

#### 【基本目標】

郷土みなかみを愛し、探究心をもって、心豊かにたくましく、生き抜く力を身に付けた生徒の育成

#### 【受け継がれる校風(「座右の銘」)】

「断えず考える」(途切れることなく考え、真理を追究すること)

#### 【具体目標】

「高く、豊かに、たくましく」を求める生徒

高く(知):生きて働く高い知性・知力

豊かに(心):豊かな感性と思いやりの心

たくましく(体):健康でたくましい体

を求める生徒

### 2 スローガン

みなかみプライド

～互いに認め合い 一人一人が輝く みなかみ中～

郷土みなかみを愛し、誇りにもち、互いに認め合い、一人一人がそのよさを発揮し、自己肯定感を高め、よりよいみなかみ中学校をつくっていかうという気持ちを育み実践していく。そして、生徒・保護者・地域に信頼される学校づくりと新たな校風づくりを推進していく。

### 3 めざす教職員像

#### (1) 「熱意」「誠意」「創意」のある教師

- 心温かく、熱意と使命感のある教師
- 夢を語り、社会性を身に付けた教師
- 生徒理解に努め、良さを引き出す教師
- 人間的な魅力をもった教師
- 専門性を身に付けた、指導力のある教師



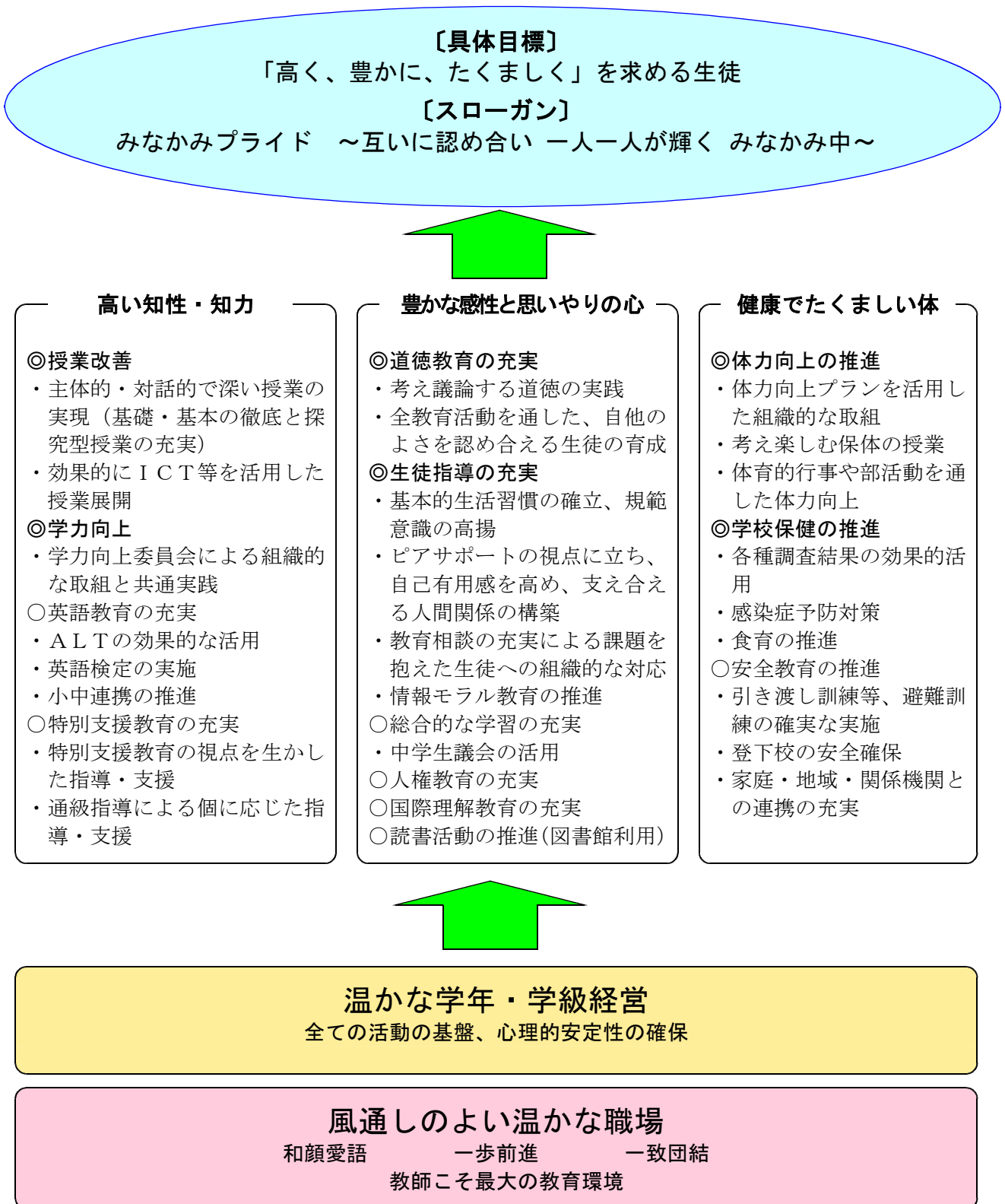
#### (2) 子どもの姿で指導を振り返る

- ・専門性を発揮し教科の本質的な楽しさを味わわせる
- ・数値+2を目指す

#### (3) 組織の一員として、協働体制を高める

- ・報告・連絡・相談(学年・教務・管理職)

#### 4 構想図



## 井上康生が大切にしている言葉、「熱意、創意、誠意」

一昨年の東京オリンピックの話です。たくさんの競技をテレビ等で見たことと思いますが、選手でなく、柔道の監督である井上康生監督の話です。



柔道男子は7種目中、5種目の金メダルを獲得しました。選手が努力して頑張ったことはもちろんですが、その指導に当たった井上康生監督の存在が非常に大きかったということです。井上監督は、9年間、日本代表の監督を務めました。闇雲に厳しい練習を課すのではなく、目標を設定し、練習の必要性を理解させ、合理的な練習をしました。また、柔道の練習はもちろんですが、道を極めるプラスになればと、選手たちに陶芸、茶道、書道などにも触れさせました。また、オリンピック代表選考会で敗れ、落選した選手のことを思い、代表内定発表の会見では涙するような人柄で、選手との信頼関係も厚かった監督です。

この井上監督が、競技においても、人生においても、大切にしている座右の銘といえる3つの言葉があるそうです。「意」のつく言葉です。

1つめは“熱意”。人生において目標や夢を持って情熱的に一生懸命に取り組む(=“熱意”)、このからこそ自分を成長させることができます。

2つめは、“創意”。さまざまな困難や苦しいことに直面しても、自分で考えぬいて、工夫して、努力していく(=“創意”)こと、それをなくしては、何事も切り開いてはいけません。

そして最後、何ととっても人と人とのつながり(=“誠意”)をなくしては、人間社会を生きていくことはできません。周りの人に感謝の気持ちをもてることは、どんな分野においても必要になってくると思います。

令和5年度の始まりにあたり、井上監督の話を紹介させていただきました。職員全員で、熱意、創意、誠意をもって教育活動に取り組んでいけるようお願いいたします。